

暮らしをサポートする『未来の家プロジェクト』に、株式会社アロマジョインが参画し

協創プロジェクトとして第3回実証実験を開始

～家が居住者に働きかけるホームオートメーション機能を実装～

株式会社アロマジョインは、IoT技術を用いて「住むことで生活、暮らしをサポートする家」の実現をコンセプトとしたI・TOP 横浜『未来の家プロジェクト』に参画し、IoTスマートホーム®を用いた第3回生活モニタリング実証実験を横浜市内で2019年3月26日(火)から開始します。本プロジェクトではこの度、新たに4者が加盟し、参画者は合計15者になりました。今回の実験では参画各者と連携し、家が居住者に働きかけるホームオートメーションの実現に取り組みます。

今後は2020年3月まで継続して実証実験を実施予定で、本プロジェクトにご協力いただける被験者を募集します。



未来の家プロジェクトは、「住むことで生活、暮らしをサポートする家」をコンセプトとし、IoT技術を活用し家が居住者に働きかけることにより、単身世帯増加、医療費増大、少子高齢化などの社会課題への対応をめざすプロジェクトです。I・TOP横浜の取り組みとして2017年6月に横浜市、NTTドコモ、and factoryの3者で開始しましたが、今期より合計●者の大きな取り組みとなり、コネクテッドホーム領域でのオープンイノベーションプラットフォームとしても成長しています。

今期の実験では、リアルタイムのデータに応じてIoTデバイスが居住者に働きかけるいわゆる「ホームオートメーション」に取り組みます。これまでの実験で得られたデータを基に設定したアルゴリズムに沿って、居住者にとって適切なIoT機器の自動動作を実現します。今後も各社の専門的な知見を融合させ、2020年3月まで実験を継続する中で、段階的に実験内容の改善と高度化を図り、未来の家の実用化・商用化について検証します。

今回の実験概要、今後の実験予定については次ページ以降をご参照ください。

1. 実証実験の概要

(1) 実証実験の内容

IoTスマートホームにて1週間通常通りの生活をしてもらい、実験前後での被験者の状態変化、意識変化、行動変容について評価・検証を行います。

実証期間 2019年3月26日(火)から2019年6月24日(月)まで

※ 本人同意の上、収集したデータは匿名化をして今後の実証実験の参考にします。

実験スケジュール

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
日程	2019年3月26日(火) ～2019年4月22日(月)	2019年5月7日(火) ～2019年5月20日(月)	2019年5月28日(火) ～2019年6月24日(月)
実験内容	・第2回実証実験時の機能再検証 ・導入機器追加	・ホームオートメーション機能の追加	・公募被験者による実験

(2)前回の実験からの追加要素

・ホームオートメーション機能の追加

センサデータの変化を検知し、これまでの知見に基づいてあらかじめ設定した自動機器制御を行います。

- 居住者の目覚めに応じて照明やブラインドが自動動作して、健康的で快適な目覚めをサポート
- 帰宅のタイミングでエアコンや照明などのIoT家電が自動動作
- 血圧や睡眠に関して、いつもと違った場合にチャットやスピーカーがお知らせ など

・搭載機器の拡大

今回より新たに、ブラインド、給湯器、スピーカー、アロマデバイス、掃除機などのIoT機器を追加します。

(3)場所

横浜市泉区和泉町6207番10ほか

※本実験は「相鉄いずみ野線沿線 環境未来都市」事業の一環です。

(4)被験者の公募について

未来の家プロジェクト Web サイトにて申し込みを受け付けます。公募条件など詳細は下記をご覧ください。

<https://mirainoie-project.jp/>

2. 今後の活動計画

今後は、いまの生活の見える化だけではなく、生活行動を先読みすることによる未来の生活サポートや、居住者自身が望む生活習慣に合わせて家が自動的に宅内環境を調節し、生活習慣の改善を促す機能の実装をめざします。

第4期実証実験 2019夏頃

あらかじめ設定された健康で快適なホームオートメーション動作だけでなく、個々人の生活特性や居住者が描く理想の生活習慣をもとに、家が居住者に働きかけることで、「今」の生活から「したい」生活のサポートを行います。第5期実証実験 2019冬頃

1週間より長期の生活により、実用性や継続性を評価します。

※I・TOP横浜

I・TOP(アイトップ)横浜は、横浜市が2017年4月に立ち上げた横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を生かし、IoT等を活用したビジネス創出に向けた交流・連携、プロジェクト推進、人材育成などの場。「IoTオープンイノベーション・パートナーズ」の略称です。

※IoT スマートホーム

IoTスマートホームは株式会社NTTドコモの登録商標です

参画者一覧

プロジェクト事務局:横浜市、株式会社NTTドコモ、and factory 株式会社

継続参画企業:グリーンブルー株式会社、三和シャッター工業株式会社、株式会社資生堂、相鉄グループ、凸版印刷株式会社、foo.log 株式会社、富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社、SMK 株式会社

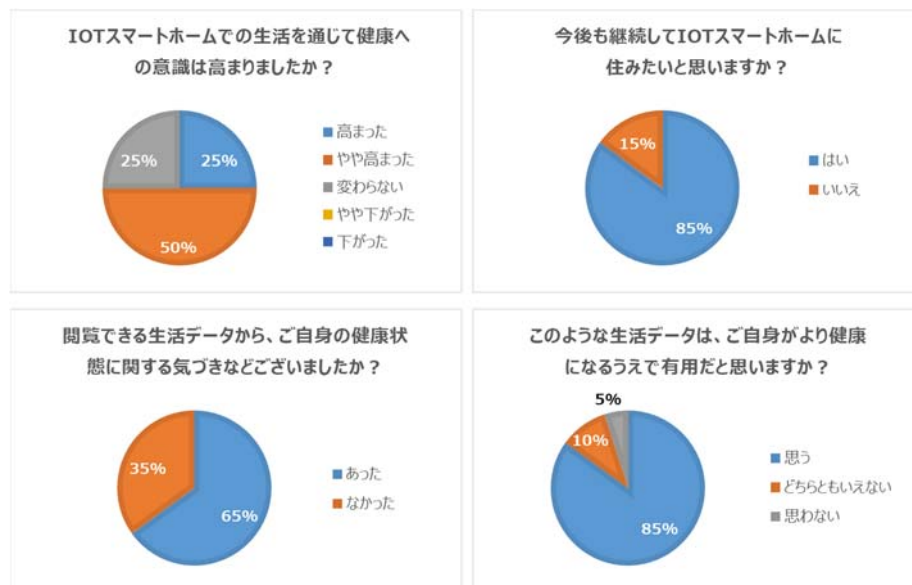
今期からの新規参画企業:アイホン株式会社、株式会社アロマジョイン、所、株式会社ニチベイ、株式会社フィッツコーポレーション、

【参考】 未来の家プロジェクトにおけるこれまでの実験結果について

これまでに2回の実験を通じて20人の被験者が1週間ずつ生活を実施されており、以下のような結果が得られています。

① 被験者が自身の生活データを確認することによる意識変化

食事、運動、睡眠などの生活データの変化、および健康に対する意識変化や行動変容について評価を行いました。全体で75%の健康意識向上がみられ、被験者が自分の生活データを確認することで、健康に対する意識向上がみられることが確認できました。また、積極的に階段を使うようになった、といったように行動変容までいたっている点もアンケートから確認できました。



これまで生活した20人の被験者アンケート集計結果

②生活行動推定に関する検証

さまざまなセンサ情報を時系列で可視化し、被験者の行動記録と照らし合わせることで、センサー情報をもとにした生活行動推定について検証を行いました。本検証により構築した仮設をもとに、第3期実験では、センサー情報から居住者の行動を推定し、ホームオートメーションを実現します。

今後も分析を重ねて定量的な評価を行い、公表を目指してまいります。